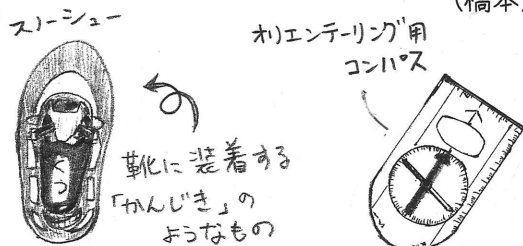


冬の田んぼアート

みなさん、「スノーアート」ってご存知ですか？雪像ではありませんよ。真っ白な雪原をキャンパスに見立て、雪を一步一步踏み固めて足跡で描く壮大なアートです。

稲で巨大な絵を描く「田んぼアート」で知られる田舎館村に「世界唯一のスノーアーティスト」サイモン・ベック氏を招き、2016年2月、日本に初上陸しました。スノーシュー（雪上を歩くための道具）を履き、オリエンテーリングコンパスを持って、広大な田んぼに積もった雪の上を下書きなしで行ったり来たり、歩くこと10時間以上、実に40kmにもなり・・・円や雪の結晶のような巨大な幾何学模様が浮かびあがります。展望台から見る模様は迫力がありカメラには収まりきれません。雪が降ると消えてしまう儚いスノーアート。太陽の光と陰、夕焼けの色彩、夜にライトアップされた幻想的な表情など刻々と変わります。

今年は、サイモン氏から直接技術継承した地元のスノーアーティスト集団「It's OK」が制作するそうです。どんな作品になるのか楽しみです。どうかお天気に恵まれますように(*^^*)(橋本)



身近な銭湯で温泉めぐり

寒くなってくると、温かいお湯にゆっくり浸かることは至福の時間ですよね。

温泉地数で全国4位の青森県には、名湯、秘湯と呼ばれる温泉がたくさんあります。そして全国的には有名ではないにしても、温泉を楽しめる公衆浴場も数多くあるんですよ。その中でも三沢市は12カ所の温泉があり、約3400人に1軒の割合という温泉天国なのです。温泉といっても銭湯感覚で、立ち寄りや日帰り利用できること、また入浴料が安くワンコインでお釣りがくるのも気軽に利用できる魅力の一つで、露天風呂やかま風呂などそれぞれに特徴ある施設を選べる楽しさもあり、毎日のように入りにくる市民も多いそうです。

「この寒さで体がちぢこまって(固まって)しまっで…」 「休日は夫婦で温泉めぐり」 「疲れがとれるのよ～」など、その目的は様々ですが、湯量たっぷりの広い浴槽に身体を沈めて、温泉の効能をゆっくりと堪能しているその顔は、心底リラックスしたとてもいい笑顔です。身近な銭湯で温泉めぐり、私も今度の週末には、どこかへ行ってみようかな～♪

(利野)



イラスト：東

《お客様のお声をお聞かせください》

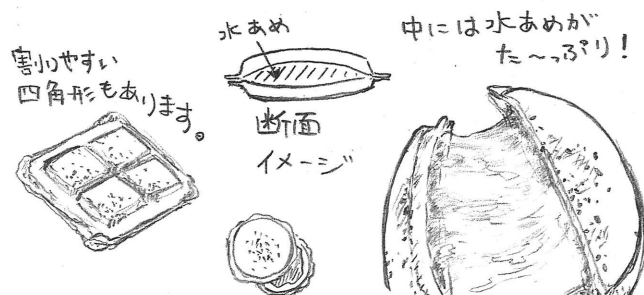
この紙面や八戸情報に対するお便りの他、「〇〇〇おいしかったよ。」「こんな食べ方が美味しい」といった商品に対するお便りなど、なんでも結構です。お寄せいただいたお客様の喜びの声、ご意見を元に、商品やサービスの向上に反映させていきたいと思ひます。

※今後、味の加久の屋からの情報をご不要という方は、お手数でも、ダイレクトメールの封筒を、同封の返信用封筒にお入れになり、ご返送ください。

飴せんべい

「飴せんべい」と聞いて懐かしいと感じる方も多いのではと思います。昭和初期に子供達に人気があったお菓子で、紙芝居や駄菓子屋さんの店先で売られていました。時代の変化と共にすっかり見なくなりましたが、青森では今もしっかりと残っています。

南部地方のせんべいで津軽地方の水飴を挟んだ「飴せんべい」。パリッとしたせんべいの食感と、噛むほどにジンワリしみ出る水飴のなめらかさがグセになります。どちらも地味な味ながら、いつまでも食べていたくなる魅力があります。津軽飴は麦芽を使っているため、見た目はハチミツみたいですが、固さがあるのでせんべいに豪快にかぶりついて、飴が垂れ落ちることはありません。最近では、水飴以外にも生キャラメルや、粉末と乾燥のカシスを練りこんだものなど郷土の食材を活かしたバリエーションも豊富です。お土産にも喜ばれるお勧めの一品ですよ。(村木)



第64号
平成30年2月